

2病棟家族会を 開催しました！

令和7年2月7日

宮寄師長による講義



今回の家族会は、2病棟宮寄師長による講義と少人数に分かれての懇談会を開催しました。
ここで家族会の内容についてお話したいと思います。

講義名「みんなちがって みんないい ～家族の揺れるココロの変化～」

今回認知症患者を支える‘介護者(家族)’に焦点を当てて講義を行いました。

認知症の介護は長期にわたり、介護者が心身ともに疲労してしまふことがあります。

介護者は必ずこの4つの心理ステップをたどり、受け入れるまで時間がかかることが分かっています。

第1ステップ:とまどい・否定



第2ステップ:混乱・怒り・拒絶



第3のステップ:割り切り



第4のステップ:受容

☆第4のステップ‘受容’にたどり着くには

介護者の気持ちの余裕が必要 ⇒周囲の理解と支援も必要!

☆特に第1・2ステップを行き来し、疲弊する方も多い印象です。

⇒‘自分だけ…’ではない、認知症の症状・出方もそれぞれ
一人で抱え込まないように、一緒に考えていきましょう!

いかかでしたが?紙面では細かい内容を伝えることは難しいのですが、ぜひ参考にされて下さいね。

懇談会は「同じ境遇の方と話をすることができて、気持ちが少し軽くなった」との声も頂いています。

アットホームな雰囲気を心がけており、リラックスして参加するご家族が多かったです。

2病棟では年2回開催で企画していますので、是非ご参加下さい。



懇談会の様子

参加していただいたご家族の皆様、有難うございました。 2病棟スタッフ一同